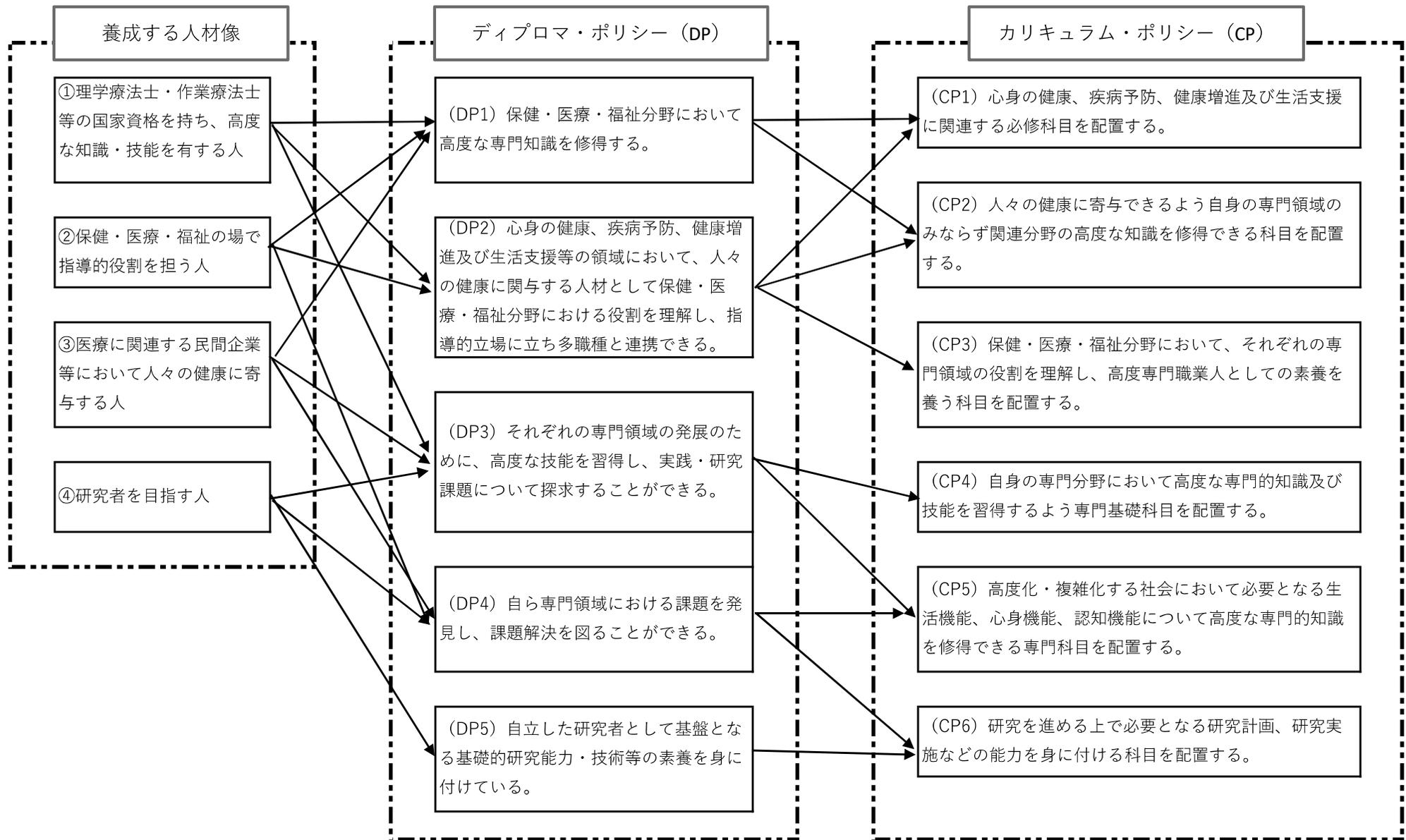


研究科の特色及び養成する人材像とディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの関連



【研究科の特色及び養成する人材像】

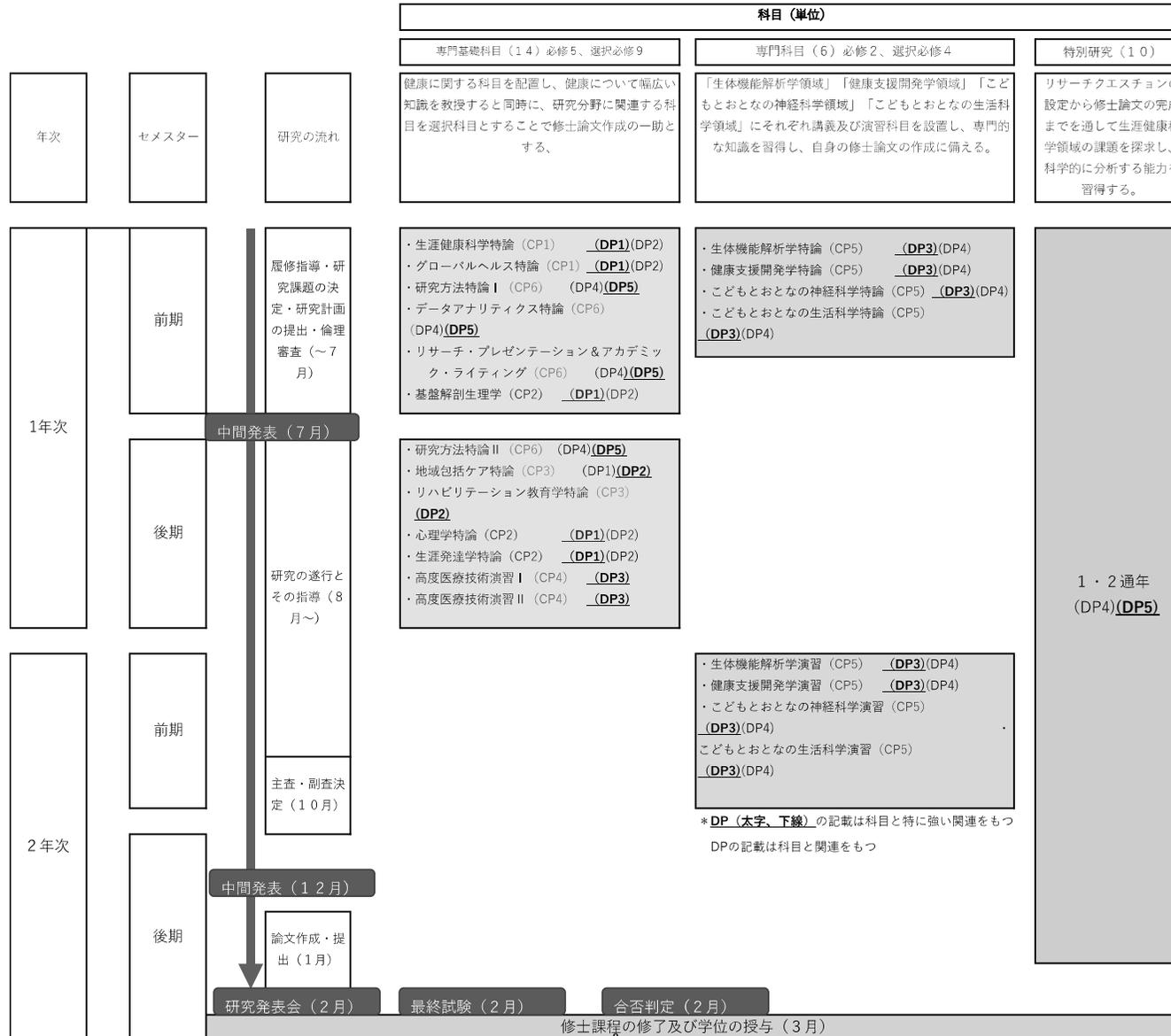
現況の社会情勢及び今後の我が国の方針及び地域における課題を踏まえ、本学大学院では既設学部であるリハビリテーション学部における主な研究分野である理学療法学、作業療法学のみを大学院における研究分野として限定するのではなく、「生涯健康科学」、すなわち我が国が課題とする生涯における心身の健康、疾病予防、健康増進及び生活支援ととらえ、今後の我が国の保健・医療・福祉において貢献できる能力を有する理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等や医療に関連する民間企業等において人々の健康に寄与する人材、すなわち高度専門職業人及び研究者を養成する。

関西医科大学 学生涯健康科学研究科 修士課程履修系統図

【カリキュラム・ポリシー】

- (CP1) 心身の健康、疾病予防、健康増進及び生活支援に関連する必修科目を配置する
- (CP2) 人々の健康に寄与できるよう自身の専門領域のみならず関連分野の高度な知識及び技術を修得できる科目を配置する。
- (CP3) 保健・医療・福祉分野において、それぞれの専門領域の役割を理解し、高度専門職業人としての素養を養う科目を配置する。
- (CP4) 自身の専門分野において高度な専門的知識及び技能を習得するよう専門基礎科目を配置する
- (CP5) 高度化・複雑化する社会において必要となる生活機能、心身機能、認知機能について高度な専門的知識を修得できる専門科目を配置する。
- (CP6) 研究を進める上で必要となる研究計画、研究実施などの能力を身に付ける科目を配置する。

アドミッション・ポリシー
(AP1) 人々の健康に関与する人として必要とされる知識及び実践能力を習得するための基礎的能力を備えている人。
(AP2) 保健・医療・福祉分野の諸課題について強い関心及び向上心を持つ人。
(AP3) 様々な視点から多様化する保健・医療・福祉分野における課題を発見し、解決する探求心を持つ人。
(AP4) 人々の健康に関与する人として豊かな人間性と高い倫理観を持ち、専門領域の発展に貢献する意欲のある人。



ディプロマ・ポリシー
(DP1) 保健・医療・福祉分野において高度な専門知識を修得する。
(DP2) 心身の健康、疾病予防、健康増進及び生活支援等の領域において、人々の健康に関与する人材としての役割を理解し、指導的立場に立ち多職種と連携できる。
(DP3) それぞれの専門領域の発展のために、高度な技能を習得し、実践・研究課題について探索することができる。
(DP4) 自ら専門領域における課題を発見し、課題解決を図ることができる。
(DP5) 自立した研究者として基盤となる基礎的研究能力・技術等の素養を身に付けている。